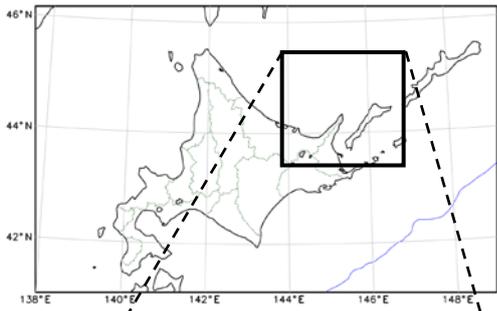
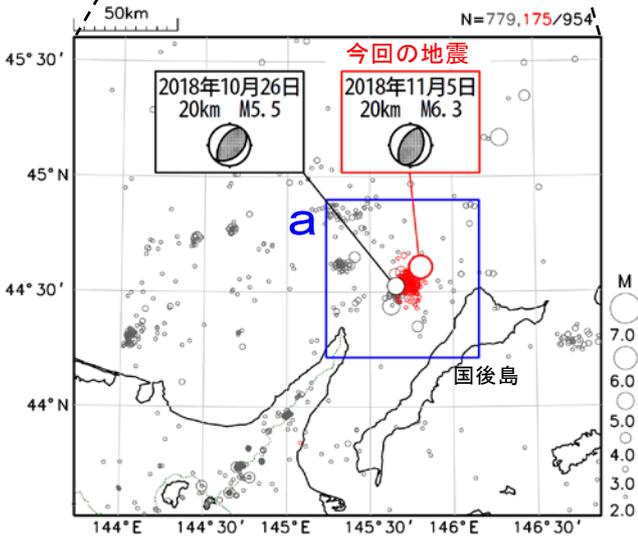


11月5日 国後島付近の地震



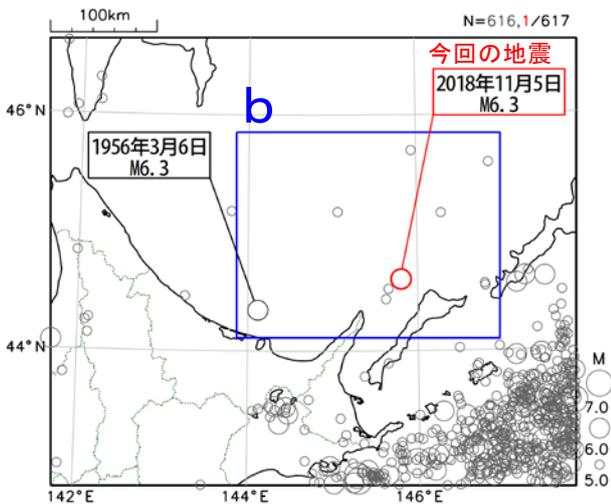
震央分布図

(1997年10月1日～2018年11月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2018年11月以降の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

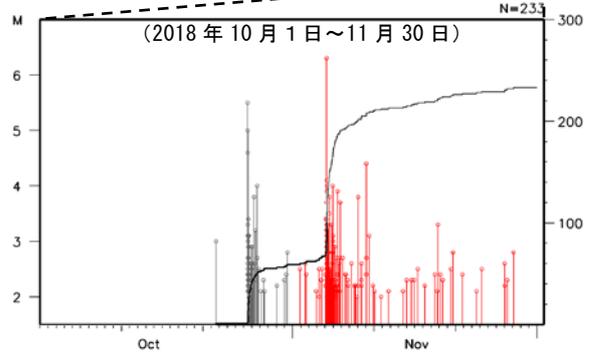
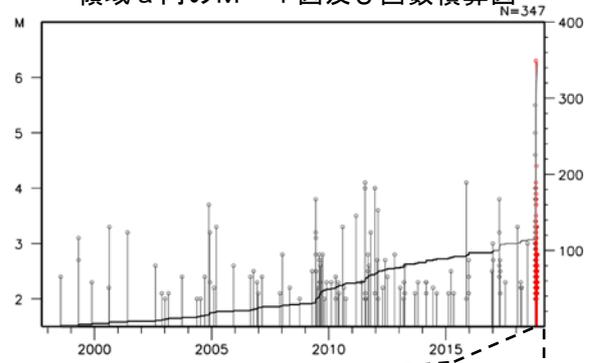
(1923年1月1日～2018年11月30日、
深さ0～60km、 $M \geq 5.0$)
2018年11月以降の地震を赤く表示



2018年11月5日04時26分に国後島付近の深さ20kmでM6.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。今回の地震とほぼ同じ場所で、同年10月26日12時04分にM5.5の地震(最大震度3)が発生し、地震活動が活発となっている。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M4程度の地震が度々発生しているが、M6を超える地震は今回が初めてである。

領域a内のM-T図及び回数積算図



1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震はまれに発生している。今回の地震の震央から西南西に約120km離れた場所では、1956年3月6日に網走沖でM6.3の地震(最大震度3)が発生し、ごく軽微な被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。また、網走では7cmの津波を観測した(「北海道の地震津波」(札幌管区气象台)による)。

領域b内のM-T図

